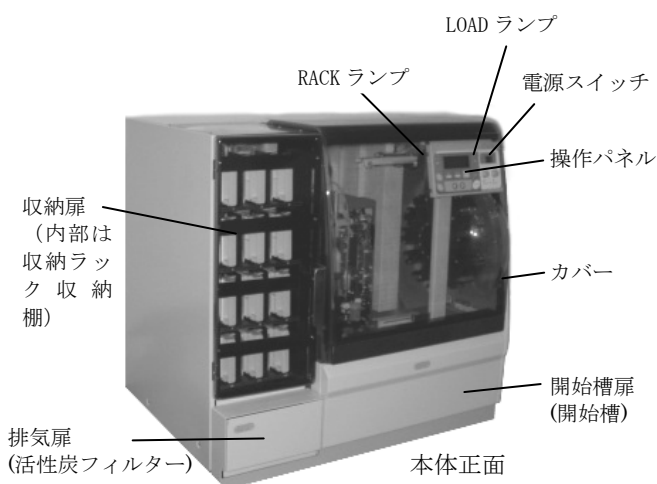


**【禁忌・禁止】**

- ・トルエンは使用しない
- ・厚い検体(0.4mm以上)を封入すると、収納ラックへの収納時に障害となる可能性があるため本装置で封入しない
- ・装置の周囲で紫外線殺菌灯を使用しない

**【形状・構造及び原理等】**

**[各部の名称]**



**【作動・動作原理】**

開始槽にセットされたスライドガラス入りバスケットを、バスケット取得機構が取得し、搬送部に未封入のスライドガラスを送り出す。スライドガラス上に封入剤を指定量滴下し、内部にセットされたカバーガラスを用いて封入する。封入済みスライドガラスは収納ラックに収納される。これらの動作を連続して行い、収納ラックは、収納棚に収められる。収納棚が収納ラックで満杯になると、画面表示とブザーにより使用者に報知する。

**【仕様等】**

型式: Glas g2-J0  
本体寸法: 750(W)×620(D)×750(H) mm  
本体質量: 約 110 kg  
処理能力:  
スライドガラス封入枚数1時間当り最大420枚(計算値)  
使用可能スライドガラス:  
25~26(幅), 75~76(長さ), 0.9~1.2(厚さ) mm  
電氣的定格  
電圧: AC100V±10%  
周波数: 50/60 Hz  
消費電力: 250VA

**【設置環境】**

- ・温度 10~40℃
- ・湿度 30~85%RH(結露なきこと)

**\*【使用目的又は効果】**

顕微鏡用スライドガラス上の病理組織標本(切片)や細胞塗抹標本を顕微鏡用カバーガラスを用いて自動で封入を行う検体前処理装置(封入装置)

取扱操作説明書を必ずご参照ください。

## 【使用方法等】

### 【必要とする設備】

電源容量 : 2.5A以上  
接地端子 : D種以上

### 【使用方法】

以下の手順の詳細は取扱操作説明書をご参照ください。

- ① 廃液容器、分注ノズル乾燥防止ボトル、収納ラック、カバーガラスホルダーなどの、必要な付属品が、所定の位置にセットされている事を確認する。
- ② 封入剤と、開始槽の透徹剤、分注ノズル乾燥防止ボトルおよび分注ポンプ乾燥防止容器のキシレン量を確認する。
- ③ 電源を入れる。
- ④ カバーガラスをセットする。
- ⑤ 初めて封入剤をセットする場合は、初期導入を行う。
- ⑥ 初めて封入を行う場合は取扱説明書を確認しながら、各パラメーターの設定を行う。
- ⑦ 操作パネルのLOADランプが点灯している事を確認し、開始槽扉を開けて開始槽を引き出し、スライドガラスを入れたバスケットを「UP SIDE」を右側に向けて開始槽にセットする。
- ⑧ 開始槽を戻して開始槽扉を閉め、STARTキーを押し封入を開始する。
- ⑨ 封入が終了したら、操作パネルのRACKランプが点灯している事を確認し、収納扉を開ける。
- ⑩ 収納ラック収納棚より収納ラックを取り出す。
- ⑪ カバーを開け、空バスケットを取り出し、収納扉とカバーを閉めて電源を切る。

※本装置は、「販売名：ティシュー・テック プリズマ、製造販売届出番号：20B2X00014000012」並びに「販売名：ティシュー・テック プリズマ プラス、製造販売届出番号：20B2X00014000034」との連結使用が可能です。

### \*\*【使用上の注意】

詳細は取扱操作説明書の「安全上の注意」、または「使用上の注意」をご参照ください。

#### 1. 重要な基本的注意

##### 1) 設置時の注意

- ・電源プラグは接地端子付コンセントに接続する。
- ・排気口をふさがない。
- ・装置周辺は通風・換気を良くする。  
[使用する薬液は、人体に対して有毒・有害なものがある]
- ・装置上には物を置かない。  
[予期せぬトラブルの原因となる]
- ・装置の設置・設置場所の変更作業は販売店に依頼する。

##### 2) 使用前の注意

- ・劣化・破損したバスケットおよび収納ラックは使用しない。  
[異常動作や装置故障、スライドガラス破損の原因となる]
- ・開始槽扉を開けてバスケットをセットするときは、LOADランプが点灯していて安全である事を確認する。  
[装置が停止しないので、怪我をする恐れがある]
- ・可動部に障害物を置かない。  
[異常動作や装置故障、スライドガラス破損の原因となる]

##### 3) 使用中の注意

- ・運転中不要なカバー・扉の開閉は行わない。  
[予期せぬトラブルの原因となる]
- ・収納扉を開いて手を入れるときは、RACKランプが点灯していて安全である事を確認する。  
[装置が停止しないので、怪我をする恐れがある]
- ・カバー・扉の開閉動作はゆっくり行う。  
[カバーや扉が破損する恐れがある]
- ・カバー・扉開閉の際、隙間に手を挟まないよう注意する。
- ・異常動作時は電源を切った後、電源プラグをコンセントから抜く。[予期せぬ事故につながる]

- ・万が一、ステージ上でスライドガラスが破損した場合は、切傷等に注意しながらガラス片が残らないよう全て取り除く。  
[異常動作や装置故障、スライドガラス破損の原因となる]
- ・廃液容器に溜まったキシレンは再利用しない。  
[異常動作や装置故障の原因となる]

#### 4) 薬液取り扱い上の注意

- ・薬液（有機溶剤等）は注意して取り扱う。  
[使用する薬液は、人体に対して有毒・有害なものがある]
- ・装置に有機溶剤をこぼさない。

## 2. その他の注意

- ・封入テストを行い、運転条件を決定する。
- ・検体はスライドガラスの中央に貼り付ける。
- ・検体が乾燥しないように、開始槽には十分な透徹剤（主にキシレン）を入れる。
- ・お手入れの際は電源を切る。
- ・装置の定期点検を6ヶ月ごとに行なう。

## 【保管方法及び有効期間等】

### \*【耐用期間】

耐用期間：製造出荷後 8年[自己認証（当社データ）による]  
条件：取扱操作説明書及び添付文書に記載された取扱注意事項あるいは保守・点検に係る事項を順守し、定期的に日常点検・保守点検を実施すること。点検結果により、下記に示す主要な構成部品や保守点検事項に記載された交換部品を適切に交換すること。保守に用いる主要な構成部品は下表の通り。

主要な構成部品名	使用耐用年数
駆動部	8年 (スライドフィッガーは消耗品)
制御基板	5年
スイッチング電源	5年
カバーガラス吸着用ポンプ	8年 (ダイヤフラム、リードバルブは消耗品)
カバーガラス吸着用電磁弁	8年
分注ポンプ	8年
検出センサ	5年
蛍光表示管	8年

※ここに記載した装置の耐用期間及び主要な構成部品の使用耐用年数は保証期間ではなく、上記の条件を満たした場合での平均的な年数となるため、使用環境、使用方法などにより異なります。

## 【保守・点検に係る事項】

### \*\*【使用者による保守点検事項】

\*\*常に機械を適正な状態で使用する、且つ、標本の破損等を防ぐために、以下の保守点検を実施してください。

詳細は取扱操作説明書をご参照ください。

- ・活性炭フィルター：定期的に新品と交換してください。
- \*\* 開始槽：キシレンを定期的に交換してください。また、検体のクズなどがたまっていた場合は、開始槽を清掃してください。
- \*\* ステーションと廃液容器：その日の作業が終了したら、少量のキシレンで各ステーションとその周辺を清掃し、廃液容器を洗浄してください。
- ・分注ノズル乾燥防止ボトル：1週間に1回または中の溶剤が混濁したら、溶剤を交換してください。
- ・収納ラック：1週間に1回以上または封入剤が付着した場合、収納ラックを洗浄する。そのときに破損している箇所がないかを確認してください。
- ・バスケット：1週間に1回以上バスケットを洗浄してください。そのときに破損している箇所がないかを確認してください。
- ・分注ポンプ乾燥防止容器：溶剤の量が減ったときは補充してください。2ヶ月に1回以上、中の溶剤を交換して

ください。

- ・カバーガラス吸着用パッド：封入剤が付着したときは、パッド面を清掃してください。

**[業者による保守点検事項]**

- ・スライドフィンガー  
：傷ついたとき、または2年を目安に新品と交換する。
- ・カバーガラス吸着用パッド  
：傷ついたとき、または1年を目安に新品と交換する。
- ・カバーガラス吸着用ポンプダイヤフラム  
：1年を目安に新品と交換する。
- ・カバーガラス吸着用ポンプリードバルブ  
：1年を目安に新品と交換する。
- ・各種シール部品  
：3年を目安に新品と交換する。
- ・バッテリーユニット  
：寿命がきたら新品と交換する。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者

名 称：サクラ精機株式会社  
電話番号：026-272-8381

製造業者

名 称：サクラ精機株式会社 長野本社工場

販売業者

名 称：サクラファインテックジャパン株式会社  
住 所：東京都中央区日本橋本町3-1-9  
電話番号：03-5643-2630（営業窓口）  
機器の故障に関するお問合せ先：0120-392-874  
（フリーダイヤル）